

提案1 ハート宣言

《会長：後藤 璃子 事務局員：後藤 康佑》

いじめのない学校にするために、ハート宣言活動を提案します。昨年度、私たちは、全国いじめ問題子供サミットに参加し、相手の立場になって考え、発言・行動することが大事であることを学びました。今年度は、いつもみんなが温かく関わり合い、しあわせになる学校にしていくために「ハート宣言」の取り組みを提案します。

「ハート宣言」の内容は、カードに自分の宣言を書き、廊下または学習センターに掲示します。1学期末、前期末、後期末に評価をして自分の行動を振り返ります。振り返りでは、良かったことや足りなかったことを出し合います。このことにより、さらにみんなが思いやりを持って学校生活を送れるようにしていきます。

提案2 あいさつ Week

《会長：後藤 璃子 事務局員：後藤 康佑》

あいさつの向上を目指し、あいさつ Week を提案します。一人一人が、相手に明るいあいさつを届けられるように、また、積極的にあいさつすることを意識できるようにみんなで頑張っていきます。

あいさつをする際のキーワードは、

- ・あかるく
- ・いつも
- ・さきに
- ・つたわるように 。

今年度も、あいさつをする際に一言明るくなるような声掛けや、ハイタッチなどを行い、山寺中学校の仲を深めるとともに、明るいあいさつの定着を目指します。

詳しい計画内容や日程は、後日お知らせします。

提案3 レクリエーション 《副会長：後藤蘭奈 事務局員：遠藤りんこ》

今年もみなさんから好評を得ているレクリエーションを提案します。小学生と中学生の絆をより深める内容の活動に加え、小中学生が共に学び合える活動（新企画）も取り入れていきます。

この提案のねらいは、次の4つです。

- ・小中学生が日常的に関わり合いながら、絆を深めていくこと。
- ・自分たちで企画・運営する中で、責任感や協力する力を育てること。
- ・学年の違いを活かしながら、学び合い、支え合える関係をつくること。
- ・小中併設校という特徴を活かし、この学校ならではの温かい繋がりを生み出すこと。

①新企画 小中学生が共に学び合える企画について

この企画では、学年の違いを活かして、お互いの考えや力を出し合い、認め合えるような学び合いを行います。具体的には、ラーニングタイム×中間休みを利用し、小中一緒に教え合い学習や読書（読み聞かせ）、英会話、運動など行います。

中学生は、小学生に何を教えてあげたいか、小学生は中学生に何を教えてもらいたいかなど、事前にアンケートをとって内容を決めていきます。

②事後アンケート（振り返り）

レクリエーション後には、自分たちの力で企画・運営できたかを振り返る時間を設けます。また、小中学生がお互いに感謝の気持ちを伝え合い、絆を深められるようにします。

小中併設校ならではの繋がりを大切にしながら、皆で楽しく学び合える活動を広げていきます。

提案 4 規約改正

《副会長：後藤蘭奈 議長：佐々木優》

山寺中学校の生徒数が減っていることを踏まえ、持続可能な生徒会にするために。以下のように生徒会規約を改正します。

なお、今回の生徒会総会で承認された場合、令和7年度後期から執行します。

(1) 生徒の役員の改変

生徒会規約

第6条 ③議長（1名）、事務局長（1名）を削除。

・1学年（クラスの改変）の生徒数が、2名や3名のことが今後多いことから、役員数を5人から3人に減らします。

(2) 選挙管理委員の改変

生徒会役員選挙規則

第4条 選挙管理委員 全校より3名を、全校より2～3名にします

・複式学級になり学級数減に対応するためです。

(3) プロジェクトの統合・改変

現在ある3つのプロジェクトを次のように統合、改変します。

学習応援プロジェクト
美化プロジェクト
広報プロジェクト



学習広報プロジェクト
美化応援プロジェクト

- ・生徒数が減っていることに伴い、教員数も減っています。先生の組織に合わせて統合します。
- ・この統合によって、1つのプロジェクトの生徒数が増えます。また、仕事内容を整理（簡素化）していきます。